

後期臨床研修プログラム

【耳鼻咽喉・頭頸部外科】

■一般目標

プライマリ・ケアで必要な耳鼻咽喉科学の基礎的知識を学び、基本的な臨床を取得する。耳・鼻・咽頭・咽喉の解剖学的特徴と生理機能を理解し、耳鼻咽喉科疾患の病態と治療法について研修する。

■行動目標

- (1) 患者－医師関係 ・患者の社会的側面を配慮した意思決定ができる。 ・守秘義務の徹底。
- (2) チーム医療
- (3) 問題対応能力
- (4) 安全管理 *
- (5) 医療面接 * ・患者の的確な問診ができる。 ・コミュニケーションスキルの習得
- (6) 症例提示
- (7) 診療計画
 - ・クリニカルパスの活用
 - ・リハビリテーション、在宅医療、介護を含めた総合的治療計画に参画できる。
- (8) 医療の社会性 *
 - ・医療保険制度 ・社会福祉、在宅医療 ・医の倫理 ・麻薬の取り扱い
 - ・文書の記録・管理について
- (9) 皮膚科の手技の習得
 - ・外用療法 ・液体窒素療法 ・皮膚縫合
 - ・創傷処置 ・光線療法 ・電気凝固法

*については、全研修医を対象とした教育プログラムを作成する。

■カンファレンス

当科は2人のみであるので、定期的な各種カンファレンスの開催はしていない。

次週の予定組立・手術の予定また術式、術後経過などの検討 毎週水曜日

入院時・退院時チェック、新入院患者カンファレンス 毎週水曜日

耳鼻咽喉科頭頸部外科画像カンファレンス 第4火曜日

(国立栃木病院にて)

関連科との合同カンファレンス、他科のカンファレンス参加は今後検討。

その他の緊急入院等の入院については、その都度、適宜検討。

■学会活動

日本耳鼻咽喉科学会

日本気管食道科学会

日本音声言語医学会

日本喉頭科学会

日本頭頸部外科学会

世界音声外科学会

上記についてだけでなく、その他の各種学会についても積極的に、参加している。

■救急外来

当科の特殊性より、オンコール体制を取っている。一般の救急外来については、病院のスケジュールに合わせて行い、必要があれば、適宜その専門医に consultation するようにしている。

■研修医の評価

疾患別の手術症例の数とその程度を中心に、年度単位で評価を行っている。栃木県地方部会をはじめとする各種学会に積極的に参加させ、発表についても評価する。

